第56回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会

since 1972
Japanese Society of Oral Implantology

有料ハンズオンセミナー2

Reconstructive Therapy of Peri-implantitis Defects
（インプラント周囲炎欠損に対する再建療法）

デンタルインプラントの使用が増加する昨今、生物学的合併症の発生率も増加する傾向にあります。
インプラント周囲炎によって広範な骨吸収が生じている場合に、インプラントを保存するための再建療法を行うべきか、
それともインプラントを撤去して再埋入を行うべきか、臨床家は重要な判断を迫られます。
本コースでは、インプラント周囲炎欠損に対する硬組織再建のプロトコルについて解説し、
顎模型を使用した実習を通して、みなさまの臨床に役立つ知識と技術を習得することができます。



講　師

Dr. Mario Roccuzzo

Adjunct Professor in the Division of Maxillofacial Surgery at the University of Torino
Adjunct Clinical Assistant Professor in the Department of Periodontics and Oral Medicine at the University of Michigan

日時 2026年9月18日（金）　14:00～15:30

会場 東京国際フォーラム 第11会場（G棟 4階 G407）
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

定員 20名

共催 第56回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会／
ガイストリッヒファーマジャパン株式会社

【使用目的又は効果】
本品は、骨再生誘導法（GBR法）を行う際に、抜歯窩及び（インプラントの安定性が既存骨により得られており、かつ、本品を使用した部位に咬合負荷等の荷重がかからない）インプラント周囲の骨欠損を含む骨欠損部に充填し、骨再生のために用いる。本品は自家骨と併せて用いることがある

Geistlich Bio-Oss® Collagen 添付文書（第1版）より一部抜粋



一般的名称 歯科用コラーゲン使用骨再生材料 /
販売名 ガイストリッヒ パイオオス コラーゲン /
医療機器承認番号 30700BZI00023000 / 高度管理医療機器

販売業者 ガイストリッヒファーマジャパン株式会社
選任製造販売業者 AJMD株式会社

leading regeneration

175 years

Geistlich
Pioneering Spirit

GPJ0032